

令和6年度 赤屋小学校 学校評価について

<学校教育目標>

～豊かな心を持ち 健康で たくましく生きる 子どもの育成～

目指す子ども像 「あかるくたくましい子 かんがえつくりだす子 やさしく思いやりのある子」

<学校評価結果> ①～⑤：今年度の重点

- ・12月「児童アンケート（16名実施）」「保護者アンケート（12家庭実施）」より
- ・肯定的評価の割合を％で表示
(児童:「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」、保護者:「そう思う」「ややそう思う」)
- ・◎:前年比+10P以上 ▲:前年比-10P以上 □:児童と保護者の意識の差が20P以上
○:成果 ●:課題 →:分析および改善策

①確かな学力の育成

質問項目	児童	質問項目	保護者
「～が分かるようになりたい。」「～ができるようになりたい。」というめあてや目標をもって、進んで勉強をしている。	▲75%	お子様は、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。	◎100%
勉強時には自分でしっかりと考えている。	100%		
考えたことや思っていることを進んで友達と話したり、発表したりしている。	▲81%		
先生や友達の話をしっかり聞いている。	100%		
少し難しいと思うことにも、分かったり、できたりするまで、あきらめずにがんばっている。	▲81%		
正しく、本を読んだり、漢字を書いたり、計算したりすることができている。	87%	学校は、読み・書き・計算の基礎基本の定着に努めている。	◎100%
勉強や発表などで、ICTをよく使っている。	▲87%	学校は、ICT(タブレットや視聴覚機器)を有効に活用している。	◎100%
ICTを使った勉強や発表、説明は分かりやすい。	100%		
ICTを使った勉強は楽しい。	▲84%		
家庭学習を毎日しっかりとしている。	88%	お子様は、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	◎83%

○児童は、学習において「しっかりと考えている」、「しっかりと聞いている」という意識が高い。

●児童は、学習において「進んで勉強をしている」意識が低く、全体的に昨年度より低下した項目が多い。

→非常に素直で、与えられた課題に対して真面目に取り組むことはできるが、新たな課題を追究したり、多様な

考えを求めたりする意識の薄い傾向がある本校児童の実態を反映している。また、一部では学校生活や学習への意欲が低下している様子も見られる。

→今年度の研究で取り組んできた「対話を効果的に取り入れた授業づくり」、「自己決定の場面のある授業づくり」をさらに推進し、児童の意欲を高め、主体的・対話的で深い学びのある学習を計画的に実践していく。

②健やかな体と強い心の育成

質問項目	児童	質問項目	保護者
学校に、楽しく安心して登校している。	81%	お子様は、学校に進んで登校している。	◎100%
地域や家庭や学校で、進んで、元気よくあいさつをしている。	87%	お子様は、地域や家庭、学校で、明るく元気な挨拶をしている。	▲67%
毎日、朝ごはんを食べて、登校している。	100%	お子様は、毎日朝食をとって登校している。	◎100%
早ね・早起きをして、しっかりと(9時間ぐらい)寝ている。	81%	お子様は、早寝・早起きに努め、睡眠時間を十分(9時間程度)とっている。	◎75%
学校や家庭で、元気よく体を動かして遊んだり、体力づくりをしたりしている。	87%	お子様は、学校や家庭で、元気よく体を動かして遊んだり、体力づくりに取り組んだりしている。	▲75%
家庭での約束を守って、メディアコントロールに進んで取り組んでいる。	▲62%	お子様は、家庭での約束を守って、メディアコントロールに取り組んでいる。	50%

●児童と保護者の挨拶への意識に開きがある。

→児童は進んで元気よく挨拶をしていると思っているが、大人(保護者・教職員)はその姿に物足りなさを感じている。学校・保護者・地域住民が連携した取組を考える必要がある。

●児童・保護者共にメディアコントロールの取組への意識が低い。

→学校としてこの問題を重視している。ノーメディアデーの取組だけでは大きな効果が見られていない。メディアコントロールをテーマとした出前授業やPTA研修会等の計画を検討したい。

③人権を尊重しあう学校風土の構築

質問項目	児童	質問項目	保護者
学校に、仲のよい友達がいる。	94%	お子様は、学校に仲のよい友達がいる。	100%
縦割り班遊びや運動会などのちがう学年の人といっしょにする活動は楽しい。	▲75%		
係や当番、委員会の仕事などで、人の役に立っている。	100%		
先生方は、自分のよいところやがんばったことをほめてくれている。	▲74%	学校は、お子様のよいところや頑張っているところを認め、伸ばすようにしている。	92%
先生方は、困ったことがあったときに、相談にのってくれたり、解決してくれたりしている。	▲81%	学校は、お子様のトラブルや悩みに対して適切に対応している。	◎92%
友達や家族に、素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」を言っている。	100%	お子様は、友達や家族に、素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えている。	83%

●昨年度と比較して、児童の評価が低くなっている項目が多い。

→縦割りでの活動を意識的に取り入れて行事等を計画すること、児童との関係づくり、学校生活アンケートの活

用や教育相談の充実など、来年度に向けて諸活動の見直しを図る。

④地域とともにある学校づくり

質問項目	児童	質問項目	保護者
赤屋のことを知ったり、地域の方と体験活動をしたりすることは楽しい。	94%	学校は、地域の「ひと・もの・こと」に関わった学習を進めている。	100%

○児童・保護者共にふるさと教育への評価が高い。

→今年度は地域人材を活用した新たな取組も行った。次年度以降も地域や保護者の皆様のご理解とご協力のもと、ふるさと教育を充実・発展させたい。

⑤学校図書館活用教育の推進

質問項目	児童	質問項目	保護者
分からないことがあったときには、図書館を利用して進んで調べている。	▲50%	お子様は、読書の習慣が身に付いている。	◎58%
進んで読書をしている。	81%		

●児童の図書館活用、保護者の読書習慣への評価が低い。児童と保護者の意識に開きがある。

→児童会活動のイベントや、毎日1冊学校司書が児童に本の紹介をするなど、読書への関心が高まるような取組をしている。家庭でも読書をする習慣が身に付くような手立てが考えられるとよい。

⑥その他

質問項目	保護者
学校は、教育方針に基づき教育を進めている。	◎100%
学校は、ホームページ、学校・学級便り、懇談会、学習発表会などでお子様達の様子を分かりやすく伝えられている。	83%
学校は、安全で安心して学べる環境づくりに努めている。	◎100%
学校は、来校者に対して適切に対応し、行きやすい雰囲気づくりに努めている。	100%
学校は、授業公開日や学級懇談会の回数・内容を適切に計画し、行っている。	100%

○昨年度より評価の上がっている項目が多い。

●学校からの情報発信への評価がやや低い。

→「家庭・地域と連携し、信頼される学校」となるよう、教職員一同、力を合わせて学校運営を推進してきた。また、今年度は授業公開日を1回増やしたが、今後も本校の活動や学校経営についての情報を積極的に発信し、様子を伝えていく。

⑦保護者自由記述欄

- ・家に帰ってまでタブレットを使わなくてもいいと思う
- ・本当に感謝してます。親子共々見守っていただきありがとうございます